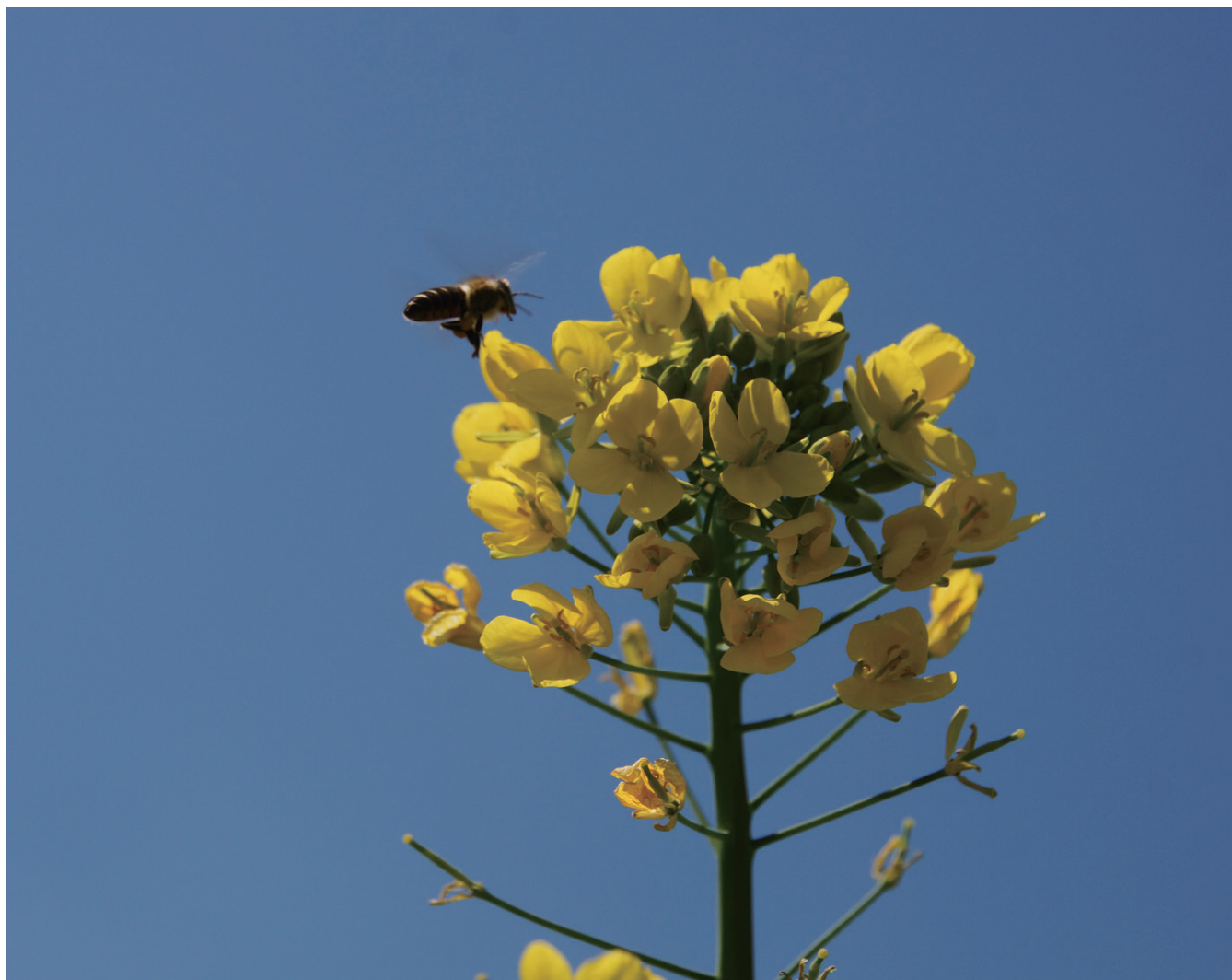




発行
八尾市民生委員
児童委員協議会
会長 小林 有美子
〒581-0003
八尾市本町2-4-10
☎990-4567
編集 広報部会



季節の花：菜の花とはち

撮影者：木下広報部会員

目次

P1 表紙
P2～P3 特集
P4～P5 専門部会活動報告

P5 わたしのライフワーク
P6～P7 地区活動だより
P8 表彰／あとがき

特集①

民生委員・児童委員が活動しやすい
環境整備に向けた検討会について

令和6年度八尾市民生委員児童委員協議会企画部会では、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化を背景に「8050問題」やひきこもり、社会的孤立など複雑化している生活課題がある中で、日々の活動を見直し、活動しやすい環境を整える必要があると考えました。事務局や市への要望だけではなく、民児協として何ができるかを検討する場が必要だと感じ、「民生委員・児童委員が活動しやすい環境整備に向けた検討会」を立ち上げました。

取り組み内容としては、ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎国広氏を座長に迎え3回にわたる検討会や、全委員を対象とした「アンケート調査」の実施、「各地区委員会ヒアリング」「1・2期目委員ヒアリング」を実施しました。



大阪府での研修

取り組みの中での課題として「民生委員の存在や役割の認知度が低いこと」や「新たな担い手がないこと」「個人情報への取扱い」「民生委員の守秘義務はどこまでなのか？プライバシーにどこまで踏み込んでいいのかわからない」「福祉についての知識を取得する仕組みが必要」「地域行事への参加・協力する負担が大きい」など、様々な意見が浮かび上がってきました。

浮かびあがった課題を①周知活動、②活動支援、③負担軽減の3つに整理し、民児協・社協(事務局)・市がそれぞれの立場・責任で進めていく方向性を示しました。今後に向けて、短期計画(概ね1～2年)、中期・長期計画(概ね3～5年)に整理し、具体的に取り組んでいくことを報告しました。

推進計画

短期計画(概ね1～2年)

- ・民児協活動の周知啓発
- ・プライバシー、個人情報の取り扱いの研修
- ・共同募金等への負担軽減の検討

中期・長期計画(概ね3～5年)

- ・新たな担い手の確保
- ・主任児童委員の活動充実
- ・地域団体間での情報共有のための場づくり
- ・支援方法や援助技術を深める取り組み
- ・災害時支援活動の取り組み
- ・地域行事の負担軽減
- ・証明事務、その他活動の負担軽減
- ・民生委員活動(自身の体調不良時等)へのサポート体制



企画部会員による検討会

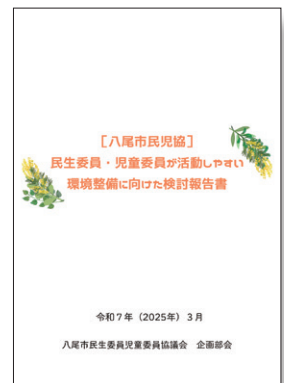


全体報告会

本検討会の座長としてご尽力いただきました、ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎 国広 氏より、「民生委員・児童委員の皆さんが「助け上手助けられ上手」となって、一人で問題を抱え込まず、コミュニティソーシャルワーカーや地域包括支援センター等の各分野の専門職や福祉委員やお節介さん（ボランティア精神にあふれる住民）と協働し支援を展開していくことが必要不可欠です。」とコメントをいただきました。

この八尾市の取り組みが取り上げられ、11月1日大阪府・大阪府社協主催の研修会『一斉改選に向けたキックオフ研修会～民生委員・児童委員の担い手確保について考える～』で民児協・社協（事務局）・市の三者で報告しました。

研修では、これまでの取り組みの経過の報告や今後に向けて取り組んでいきたいことを発表しました。民児協の想いとして、「委員同士の信頼関係が深まってくと、活動もより楽しくなっていくと思います。負担ばかり感じないためにも、自分自身が楽しみながら活動することが大切です。」と報告しました。



報告書表紙

特集② 令和6年度 大阪府児童委員活動研究集会×主任児童委員連絡会

令和6年12月9日（月）に国民会館にて「令和6年度 児童委員活動研究集会×主任児童委員連絡会」が実施され、「学校との連携について」をテーマに八尾市民児協の取り組みを報告しました。児童に関する活動として、子育て支援ひろば「はとぼっぼ」やPR活動、障がい児者への協力や児童に関する研修の実施などを報告しました。また地域と学校がつながるきっかけ（風知草第82号P.4掲載）なども報告しました。



八尾市民児協の取り組みの報告

専門部会活動報告

生活福祉部会

龍華地区 山下 隆子

9月26日(木) 八尾市水道局にて生活福祉部会の研修会を開催しました。第一部では大阪府警交通安全教育班の岡田氏のお話で、自転車走行時には車の運転の時ほどには交通ルールに注意を払ってない事や、知らないルールがあることが分かりました。自転車事故が増加している中、交通ルールの順守、ヘルメット着用の重要性を再確認できた有意義なお話でした。

第二部では八尾警察生活安全課の竹内氏による特殊詐欺の現状の講演がありそ



交通事故にあわないためのポイントソング♪

の後、吉本の芸人さん達による寸劇をDVDで視聴しました。詐欺の方法や対処を学び本当に役に立ちました。

今回の研修会では新たな知識をたくさん得られ、今後の見守り活動に大いに活かしていきたいと思えます。

児童福祉部会

西郡地区 遠藤 美雪

12月13日(金) 八尾市文化会館プリズムホールにて児童福祉部会の研修会を開催しました。令和5年度「ほっぷ」受付の児童家庭相談の内訳で特に多いのは、児童虐待、発達障がい、言語障がい、育児しつけ、不登校、その他、中でも6割が児童虐待の相談でした。虐待年齢も自分で身を守る事のできない0歳～8歳の低年齢の子どもの多い事で、虐待は見つけにくいという認識を持ち「子どもからのサイン」「保護者からのサイン」を見逃さない



八尾市職員による講演

事が大切です。地域、隣近所、民生委員児童委員の付きから、相談通告→安全確認→対応につながっていくとの話から普段の活動である相談役、行政へのつながり役の大切さを再認識しました。又、保健センターの母子健康係では、子どもの成長に寄り添う継続的な支援が行われています。「ほっ

障がい者福祉部会

曙川南中学校校区地区

大向 清己

2月21日(金) 八尾市水道局4階大会議室での研修会で、医療法人清心会地域活動支援センター「ちのくらぶ」の施設長と2名の当事者が来られ障がい者に対する理解、体験談を伺いま

ぶ」を中心に経済的給付に加え相談支援や家事支援など、妊娠、出産、子育ての切れ目のない「伴走型支援」が実施されていることの説明がありました。特に乳幼児健診未受診家庭の子ども

の状況を把握し、支援の必要な家庭を支援につなげる事によって、子ども虐待の未然防止につながっていく流れは、とても重要であると思えました。

した。
又、八尾柏原精神保健福祉を考える市民の会「きやらふるやおかし」の会長から日頃の活動についてお聞きしました。障がい者の体験談では、健常者と関係を持つのは苦痛、誤解を受けていると思うようでした。

私は毎月1回曙川コミュニティセンターで行われている「ふれあい喫茶」に参加しています。そこでは作業所から関係者と障がい



質問に答える参加者

者が来られ障がい者の方がお客さんにモーニングセットを運ばれています。それと作業所で障がい者が作られた食パン、洋菓子を販売されています。

今後、このような研修があれば参加し、障がい者に対する理解を深めていければと思います。

高齢者福祉部会

大正中学校区地区

植村 幸永

10月29日（火）令和5年

度につき「認知症高齢者声掛け体験」を実施しました。高齢者役の方にはさまざまな理由でひとり歩き（徘徊）する設定での模擬演技をお願いしての実践研修でした。ファミリーロード・周辺商店街には目撃情報や活動場所の提供で協力いた

だきました。体験したことで実際の場面でも対応できそうです。

さらに、今回は体験後のまとめでは八尾警察の地域課の方からは「困ってそうなた方があれば、警察にご連絡下さい。」とお話がありました。ひとりで解決しようとするのではなく、警察に相談しても「良いのだ」と思いました。

民生委員活動の中で困った際は関係機関、関係者、仲間に相談することで早期解決につながります。



目撃情報を商店の方に聞く参加者

わたしのライフワーク

眠りへの探求、宿命と情熱

（曙川中学校区地区）増井 保彦

寝具店を経営する私にとって、ライフワークはまさに「眠り」そのものです。幼い頃から布団に囲まれ、眠りの不思議に魅せられてきました。「人はなぜ眠るのか？」という根源的な問いは、尽きることのない探求のテーマです。

地域民生委員として、地域の皆様の健康を支える中で、睡眠の重要性を改めて実感しています。睡眠不足は心身の不調を招き、生活の質を低下させます。

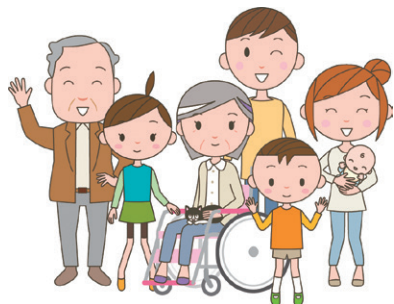
「良い睡眠で人々を元気にしたい」その想いを胸に、各地で睡眠講座を開催しています。眠りのメカニズムや快眠のコツをお伝えし、皆様の健康増進に貢献できれば幸いです。睡眠は奥深く、探求に終わりはありません。これからも眠りへの情熱を燃やし続け、皆様の健康をサポートしていきたいと思っています。

地区活動だより

「障がいのある人と人権」

高美中学校区地区 西川 一男

今年度は「高齢者虐待のない社会へ」と「障がいのある人と人権」をテーマにDVDを用いて研修を行いました。研修で印象に残ったことを挙げると、障がい者には四つのバリアがあるということです。その



中の一つに意識面でのバリア（心のバリア）があり、これは障がいのある人に対する偏見や無理解、無関心であることに基づくものです。お互いの人権を尊重する為には特に重要です。相手の状況や気持ちを理解することが大切になります。ある新聞の記事の中では物理学者が言っていることですが、生物は元来保守的にできているそうです。これは主に自分と同じ集団に向きやすいということです。だからこそ、相手の状況、気持ちを思いやることが大切だと感じた研修でした。

「活動記録簿の記入の仕方について」

成法中学校区地区 江上 剛司

本委員会では、一年毎に企画委員会という組織が編成され、その年度の研修会と親睦会行事の企画・運営をまかされています。そのため、今年度は、本会のメンバーの意見により、毎月定例会を行っている「福祉会館の事を知る」と、毎月提出する「活動記録簿の記入の仕方」について研修をすることになりました。講師にあたっては、社会福祉協議会の職員の皆様方をお願いしました。内容は前半「八尾市社会福祉協議会のはたらき」、後半「活動記録簿の記入の仕方

について」です。今回の研修において、内容が十分理解ができたかという点、まだまだという感覚があります。それは、時間の割に内容が多岐にわたっているからです。特に活動記録簿の記入の仕方については、色々なケースがあり、



活動記録の書き方について

さらに研修を深める必要を感じました。しかし、講師の方から「まちがついていないので、少しでも実践されたことがあったらすべて書いて下さい。私達が国に届けますから。」という言葉が、とても印象に残りました。私達一人ひとりのデータが、国に届けられていくということを再確認しました。

民生委員・児童委員の皆様。

どんな小さな事でも、実践した事を記入し、提出しましょう。それが国に届ける私達の声ですから。

「警察との連携」

八尾中学校区地区 植田 和憲



萱振交番

八尾中学校区は、用和小学校地区（18名）と長池小学校地区（15名）で活動をしています。近年、コロナ禍で活動を自粛していましたが、今年度より『はとぼっぼ』の活動や『地域のイベント』等が始まり、交代で参加しています。

最近、定例会に八尾警察署の萱振交番や八尾駅前交番の警察の方が毎月参加され、振込め詐欺の実態や自転車の事故防止についてのミニ講習をして頂き、メンバールのレベルアップにつながっています。お年寄りが、事件に巻き込まれる時代なので大変助かります。

定例会は、連絡事項が中心なので、親睦を深めるため日帰り研修旅行（昨年は琵琶湖・石山寺方面）や新年会、忘年会（定例会終了後軽食、ゲームetc.）を行いました。

「山本三地区合同バス研修旅行」

東中学校区地区 吉村 とみ子

十一月に入っても暑い日が続いて秋は何処へと思っていたら冬!!と感じる寒い日に四年越しのバス研修旅行の開催となり、丹波路をバスでのビデオ研修を兼ねて行いました。

ビデオは『小中学生のスマホ問題』孫世代のスマホの向き合い方やSNSの使い方等、複雑な思いで視聴し、子ども達への指導の難しさを痛感致しました。

研修後は、立杭焼陶芸体験をしました。先生の実演講座に思い描いた器でロクロに挑んだのですが、想像と現実には、少しズレがあり妥協ありの作品となったのは、私だけだったでしょうか。皆さん各々作品の完成に盛り上がり、焼き上が

りを祈りつつ、窯元を後に昼食へすき焼きと割烹を堪能し、お喋りもはずみ、三地区の方々との交流も深まりました。最後は高源寺の紅葉を満喫しながら、明日からも民生委員として励もうと帰路に着きました。皆様、ご参加有り難うございました。合掌



みんなで作った作品



山本三地区合同でパシャリ

表彰

おめでとうございます

(※は退任者)

北山 景	(志紀中)
森澤 妙子	(志紀中)
堀内 百合江	(志紀中)
小野 佳英子	(志紀中)
山中 美香	(志紀中)

☆令和6年 文化の日

市民表彰

(6. 11. 3)

梅本 直紀	(高美中)
西川 一男	(高美中)
平田 一紀	(成法中)
森井 敏雅	(八尾中)
梅本 洋子	(八尾中)
柳澤 正和	(曙川中)
阪口 潤子	(東中)
山田 美智子	(上之島中)
寺田 眞喜子	(上之島中)
山下 豊次	(上之島中)
田中 恵美子	(上之島中)
芝 久美子	(上之島中)
栗山 博行	(龍華)
川勝 庄三	(龍華)
澤田 永子	(龍華)
下司 朱実	(龍華)
三好 隆夫	(龍華)
津田 慶子	(龍華)
椿井 正仁	(龍華)
※山岡 ノリ子	(龍華)
近江 豊	(龍華)
西岡 好子	(久宝寺中)
寺下 正登	(久宝寺中)
高橋 博子	(久宝寺中)
石崎 啓子	(大正中)
細田 昌克	(大正中)
金田 照雄	(西郡)
西岡 清美	(西郡)
松村 俊一	(南高安)
中村 美智子	(曙川南中)
井上 君子	(曙川南中)
古澤 陽子	(曙川南中)

☆全国社会福祉協議会
会長表彰(民生委員・
児童委員功労表彰)

(6. 11. 26)

小林 有美子	(成法中)
西川 典子	(東中)
森下 明美	(竹淵)

☆厚生労働大臣表彰

(6. 11. 26)

小林 有美子	(成法中)
--------	-------

あとがき

第83号「風知草」を、お読みいただき有難うございました。

早いものでこのあとがきを執筆させて頂くのも5回目となりました。

さて、令和5年79号に新幹事のご紹介をさせて頂いたばかりですが、この12月には一斉改選がまいります。各地区の委員長には、委員交代など頭の痛い案件と察します。昨年12月には推薦者の居住要件改正で、同小学校地区に居住であれば、他地域でも活動が可能となりましたが、それだけでは解決策とはまだまだいえない状況であります。

今回は、特集①に「民生委員・児童委員の活動しやすい環境整備に向けた検討会」についての報告内容を掲載いたしました。八尾市社協のHPでも報告されると思いますので、ぜひご覧ください。

このあとがき作成時は、大阪で珍しく寒波到来のころで、今回原稿執筆にご協力いただきました各地域の皆さまには心より感謝申し上げます、次号以降の執筆にもお力をお借りたく、よろしくお願い致します。

広報部会一同

「八尾市社会福祉協議会 第4次地域福祉活動計画」の見直し作業を行いました。

八尾市社会福祉協議会ホームページ等でぜひご覧ください！